

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市真備ふるさと歴史館
(2) 指定管理者	所在地 岡山市北区東古松3丁目12-2-602 名称 岡田藩史研究会 代表者 山崎 隆夫
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
(4) 評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	環境整備や施設の維持管理に努めるとともに、展示に変化を加えるなど、魅力増進に向け努力が見られる。入館者数は前年より微減であったが、観光課主催のイベントにも積極的に協力するなど、来館者増加に向けての周知にも努めている。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・愛好家から寄贈された横溝正史の直筆草稿を専門家の鑑定を受けて確認をした後、以前横溝正史の遺族からいただいていた保存資料も加え「直筆コーナー」として展示を行っている。</li><li>・遠来の来館者等の便を図るため、開館日など疎開宅と連携を密にして対応した。全国規模となった11月の倉敷市主催の1000人の金田一耕助のコスプレイベントでは、前年も参加者から好評だったおにぎり配布を実施した。金田一耕助衣装の貸し出しにも応じた。</li><li>・展示ケース内の岡田藩古文書などの点検、湿度・温度・防虫剤の適切な管理にも努めた。また朽化した蛍光管のLED化工事も実施され、明るく見やすい展示に努めた。</li><li>・研修会として井原市の平櫛田中美術館、古代まほろば館、高越城址などを視察、城址顕彰会会長や職員の説明を受けた。また横溝正史の妻の姉の長男が社長を務めていた日本綿布（井原市荏原）工場の建物も見学した。</li></ul>	
(3) アンケート結果の概要	<p>倉敷市を含む岡山県内と県外からの来訪がほぼ半々、県外では関西圏からが多かった。半数以上がマイカー利用で、初めての来訪者が8割だった。</p> <p>館内の説明だけでなく、金田一衣装にも関心を示し、記念撮影に興じて楽しむ人も見られた。</p> <p>「館内に手洗いを」との声も多かったが、「一帯の公園や地域の環境整備としてのトイレであるためには、閉館日以外でも使える今の形態にしている」と必要な場合には説明。</p>	

## 3 施設の利用状況

(1) 利用者数	前年度入館者数 1, 792人 今年度入館者数 1, 773人
(2) 事業の内容	倉敷市真備ふるさと歴史館の管理運営に関すること

## 4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	951,182円	
	市からの指定管理料(委託料)		904,000円
	繰越金より充当		47,182円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	951,182円	
	主な支出	人件費	877,000円
		会議研修費	28,018円
		消耗品費	38,620円
		保険料	5,000円
		その他	2,544円